

令和7年度 決算報告書

国立大学法人大阪教育大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,991	6,434	444	(注1)
施設整備費補助金	790	760	△ 30	(注2)
補助金等収入	-	600	600	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	14	14	-	
自己収入	2,770	2,273	△ 497	
授業料、入学料及び検定料収入	2,653	2,166	△ 486	(注4)
雑収入	118	107	△ 10	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	522	618	96	(注6)
前中期目標期間繰越積立金取崩額	90	80	△ 10	
目的積立金取崩額	330	176	△ 154	
土地売却収入取崩額	20	9	△ 11	
計	10,527	10,965	439	
支出				
業務費	9,202	8,949	△ 252	
教育研究経費	9,202	8,949	△ 252	(注7)
施設整備費	804	774	△ 30	
補助金等	-	95	95	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	522	305	△ 217	(注9)
計	10,527	10,123	△ 404	
収入－支出	-	843	843	

* 金額については百万円未満の単位で四捨五入しているため合計が一致しないことがある。

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度の繰越額等により、予算額に比して決算額が444百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、使用額が交付決定額より少なかったことにより、予算額に比して決算額が30百万円少額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、予算段階で予定していなかった補助金等が交付されたこと等により、予算額に比して決算額が600百万円多額となっています。
補助金等収入には、授業料等減免費交付金が501百万円含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、学内予算において、授業料減免費交付金を授業料収入に含めて編成していること等により、予算額に比して決算額が486百万円少額となっています。
- (注5) 雑収入については、学内予算において、科学研究費助成事業等の間接経費収入を雑収入として編成している一方で、決算額においては「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」に含めて計上することとされていること等により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等研究収入の受入が見込より増加したこと等により、予算額に比して決算額が96百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、経費削減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が252百万円少額となっています。
- (注8) 補助金等については、(注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が95百万円多額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、決算額には次年度への繰越額を含めていないこと等により、予算額に比して決算額が217百万円少額となっています。